様式３(2020.06改)

作成日　令和4年3月9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370500916
事業所名	丸八グループホーム日吉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	ホームだけでなく、法人として地域に溶け込んだ存在であるが、コロナ禍によって取組みの多くが中断している。 町内会とのつながりも強く、法人施設の一部を会合場所として提供しており、新型コロナの感染状況を見ながら役員会などが行われyている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	法人が所有する広い会議室を使い、コロナ下にあっても通常の対面会議を継続して開催している。 ホームに関する話し合いだけでなく、地域に関わる課題も取り上げ、町内会と地域包括支援センター、民生委員が連携して、問題を抱える独居高齢者を訪問することが決まった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センターの職員が運営推進会議に出席し、市や区の情報を文書を添えて伝えている。 5名の生活保護受給者が利用しており、介護計画の更新毎に区役所を訪問して資料の提出を行っている。コロナ禍によって、区の担当者のホーム訪問は中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	「新型コロナ蔓延防止の重点措置」が発出されているが、万全の感染防止策を講じた上で、居室での家族面会を認めている。 ウイルスを持ち込むことを危惧し、従来より来訪する家族の数は少ないが、看取り期に入っている利用者の居室には、連日多くの関係者の見舞いがある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

年間6回の運営推進会議が開催されている。法人が所有する広い会議室を使い、コロナ下にあっても通常の対面会議を継続して開催している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									